

## 日吉屋通信

爽秋の候、皆様ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
2015年に発刊しました、日吉屋の工房の様子や新たな取り組みをご紹介する定期便「日吉屋通信」。  
本日はVOLUMEをお届けいたします。



### ・芸術の秋の出来事

サルバドール・ダリ

シュルレアリスムの代表的な作家で、「天才」と自称して憚らず、数々の奇行や逸話まで語られる、スペインの大家作家。

意外なことに、ダリの使っていた和傘があることが分かりました。

### ・画家と和傘

現地のダリ・ミュージアム担当者によると、1959年ごろ、ダリ美術館に日本のある新聞局から贈呈された和傘があるとのこと。

ダリも大変気に入り、自身で差されて海岸を歩かれたり、ダリ自身の家のデコレーションに使用されてきたそうです。

50年以上も月日がたち、破損がひどくなってきたこの傘。この度、ダリ美術館様からご依頼いただき、出来るだけ当時の和傘を詳細に再現した展示用の作品を製作する事になりました。

そこで先日、ダリ美術館を訪問し、細部の確認を行ったのですが、驚くべきことに現在弊社で製作している京和傘の特徴に非常に似ており、また傘全面に京友禅の技法で見事な絵付けが施されていました。ひよっとして三代目が製作した物かもと空想しつつ、製作の準備を始めています。製作過程は、弊社フェイスブックなどで、随時発信して参る予定です。

世紀の芸術家と繋がった、日本の和傘。どのように復活するか。ご期待ください。

・参考

ダリ美術館： [http://www.salvador-dali.org/en\\_index/](http://www.salvador-dali.org/en_index/)

ダリと和傘（ポスターが販売されています）： <http://www.amazon.com/Dali-Parasol-Poster-Salvador-10/dp/B0072M140K>

※本件、ドキュメンタリーとして映像に残して下さるメディア様を募集しております。

日吉屋広報部までご一報くださいませ。